

会 議 録

会議の名称	委託業務総合評価一般競争入札評価員会議（令和3年度（2021年度）第2回）
開催日時	令和4年（2022年）1月26日（水） 15時30分～16時30分
開催場所	枚方市役所 本館3階 第3会議室 Web会議にて開催
出席者	委員長：吉村評価員 評価員：浜口評価員、吉崎評価員 事務局：（契約課）山下課長、森田課長代理、柴田係長、橘主任 （総務管理室）沖課長、西田課長代理、大石課長代理、平間係長
欠席者	評価員：三成評価員
案 件 名	案件1．安心と輝きの杜施設総合管理委託に係る委託業務総合評価一般競争入札の落札者決定基準に基づく落札候補者の決定について
提出された資料等の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の次第書 ・ 資料1 執行調書 ・ 資料2 入札参加者評価点一覧（安心と輝きの杜施設総合管理委託） ・ 資料3 A者評価基準採点表（安心と輝きの杜施設総合管理委託） ・ 資料4 落札者決定基準（安心と輝きの杜施設総合管理委託） ・ 資料5 仕様書（安心と輝きの杜施設総合管理委託）
決 定 事 項	審議案件について、意見聴取が行われた。
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	非公開 枚方市情報公開条例第6条第7号に規定する非公開情報が含まれる事項について審議・調査を行うため。
会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
所管部署（事務局）	総務部契約課
審 議 内 容	
<p><主な意見・質疑></p> <p>案件1．安心と輝きの杜施設総合管理委託に係る委託業務総合評価一般競争入札の落札者決定基準に基づく落札候補者の決定について</p> <p>《評価基準採点表について》</p> <p>評価員：社会的価値評価の④と⑧の採点がともに0点になっている。結果として、全く取り組みがされていないということになるが、これで問題ないのか。</p> <p>令和2年度の案件でも、社会的価値評価のこの項目で取り組みされていないところが同じようであった。落札者決定基準では、取り組みを促進させるために必要に応じて報告を</p>	

聴取するということになっているが、それで事足りるのか。聴取の結果はフィードバックされるのか。

事務局：現在の評価項目は、あくまでも加算という位置づけ。仕様書の要件は満たしていて、そのうえでこういった評価項目として設定しているものに対して加算できる取り組みをされているかどうかという観点で見ている。それでいくと、評価できる項目がなかったということにはなるが、業務上は支障ないということは確認できているかと思う。今おっしゃっていただいたのは就労支援への取り組みという④と⑧が女性の採用、職域拡大への取り組みということであるかと思うが、そういった点では内容、資料の提出、項目として評価できるものではなかったという結果になっている。

評価員：ということは、この評価点はもともと低くてもよいということか。

事務局：そういうものではなく、ガイドラインという形でホームページに掲載しているので、こういった評価項目を設定して入札を行っている。業者も、枚方市で仕事を取ろうと思えば、こうした取り組みをしていけば加点に結び付くということもあわせて、こういった取り組みを枚方市が進めているということで周知や、取り組みが浸透していけばよいのではと思っている。

評価員：了解。

委員長：今、評価員の質問の後半部分にあったが、たしか、令和2年度の案件で、この項目の辺りの点数が低かったものについて、その後、取り組みがされているかどうかというのを事業者にも報告してもらっているのか。例えば、今現在実施されているのかどうかということだと思うが、それについてはどうか。

事務局：今の落札者決定基準においては取り組みを実施するという形で資料提出があった場合、本当に提出された予定内容がきちんと履行されているかどうかの確認は、仕組みとして設けてはいるが、評価の時点で取り組みがなかったものについて、その後、改めてその取り組みを始められたかということろまでは、確認していない。

評価員：なるほど、今回は特に1者だったということもあって、事業者にとって得手不得手の項目がもちろんあるわけだが、今回の社会的価値評価の④と⑧が0点だったことについて、例えば、よい方法かどうかわからないが、次の入札までこのままにしておいたら、他に力を入れている事業者が出てきたら負けますよというようなことを言うとか。そういうことぐらいならできるかもしれないという程度か。

事務局：それくらいであれば言えるのかなと。今回はこれで決まりましたけど、こういうところに取り組みればもっと評価点が上がりますね、などの話はできるかと思う。

委員長：全体の点数から言えば、70%ということでそれぞれクリアされているということで、そんなに駄目な感じということはない。確かに、取り組みがゼロと思われるところがあるのは、評価員会議としてもちゃんとまた勉強しておかなければいけないと思う。

事務局：先ほど、⑧の部分で0点の項目があり、具体的な資料をお示ししていないのでここから読み取ることはできないが、内容を確認できなかった旨を記載している。資料の提出はあったが、こちらが求めている内容が確認できず、要件を満たしていると言えないところがある。0点という点数でも、取り組みが全くされていないものと、取り組みはされているが評価基準を満たしていないために採点上は0点として表れてしまっているものがあると思う。そういう部分を、こういう基準を設けて点数をつけていますよと、資料の提出方法ももしかしたらわかりにくいところもあるので、こういった取り組みを枚方市が進めて

いるという周知と併せ、次の発注に向けて落札者決定基準等でわかりやすい形にしていきたいとは思っている。

評価員：重複になるかもしれないが、先ほどの評価員の発言はたしかに重要かと。落札者決定基準では、おっしゃるように契約期間中の確認方法、契約期間中の取り組みを促進させるため必要に応じてというところ、取り組みがゼロのものはそもそもゼロなので、特に報告や聴取はしないということになるかもしれないが、ただ、必ずしもそうではなく、促進させることがマイナスになることはないであろうから、1点のところも0点のところも、総じてどうなっていますかと、やれということではなくて、どうなっていますかということをごちからいうことで啓発や前に進めていくこともあり得るのかなと思う。ここの表現方法や、実際の運用の中でこの評価点を生かすような方向で運用していただければというのが感想。

《閉会》

以上